令和8年9月台風25号（千葉県豪雨等）における日建連の対応状況

（10 月 29 日版）

2026 年 10 月 30 日

（一社）日本建設業連合会

1. 関係機関との連絡体制

・　9 月 22 日、国土交通省関東地方整備局より災害時包括協定に基づき印旛沼における堤防破堤箇所の緊急復旧対応要請を受ける。日建連関東支部に対策本部を設置（8 月千葉豪雨から継続中）、以降、千葉県内で発生した各所災害への対応について、関東地方整備局、千葉県等と連絡を密に現在も対応中

2. 各機関からの要請への対応

9 月 23 日（水）

・ 印旛沼堤防破堤個所について、関東地整テックフォース、千葉県等の関係者とともに現地調査を実施（日建連からは 2 社が参加）。現地調査の結果、成田市船形干拓地先（堤防決壊約 100 m）の緊急復旧を日建連（１社）が対応することとなった。

・ 関東地整より、河川における排水機場の燃料（灯油）の調達・運搬の支援要請を受け、8.3 万 L を当日中に運搬完了（２社で対応）。

9 月 24 日（木）

・ 印旛沼破堤部（成田市船形干拓地先）の現地踏査、工程調整を実施。

9 月 25 日（金）

・ 印旛沼破堤部（成田市船形干拓地先）の緊急復旧作業開始

・ 千葉県および関東地整より豪雨災害での「大規模停電」に対する支援要請があり、千葉県庁にて東京電力他と対応打合せ（日建連から 4 社が参加）

・ 千葉県から県道 287 号線の災害復旧への協力要請があり、対応準備（3 社）



印旛沼破堤部の施工打合せ



印旛沼破堤部の現場調査




印旛沼破堤部の緊急復旧作業

9 月 26 日（土）

- 県道 287 号線の災害復旧対応について千葉県庁にて打合せ、現地確認の結果、2 社で対応することとなった。
- 関東地整より、水道施設の停電要因となっている道路被災箇所の道路啓開対応の要請あり、対応準備（1 社）
- 豪雨災害での「大規模停電」に対する現地調査を実施、停電復旧のための道路啓開作業を 28 日から開始（4 社）




県道 287 号線の現地調査



停電復旧のための道路啓開作業（市原市）
（国土交通省関東地方整備局提供）



停電復旧のための道路啓開作業（東金市）
（国土交通省関東地方整備局提供）

9 月 27 日（日）

- 県道 287 号線対応について、千葉県、建コン協会、日建連（2 社）にて再度現地確認。復旧方針等打合せ→以降順次作業開始（継続中）
- 水道復旧のための道路啓開（土砂撤去、倒木除去等）対応について、千葉県庁で打合せ（1 社）→以降順次作業開始、10 月 1 日（木）当初要請分の作業完了

9 月 30 日（水）

- 関東地整より、酒々井町内の馬橋川上流の浸水被害発生要因となっている土砂撤去・河道確保対応の要請あり、酒々井町役場で打ち合わせ（1 社）→以降順次作業開始（継続中）

10 月 1 日（木）

- 千葉県より、県内 7 か所の県道（14 号、21 号、81 号、93 号、128 号、147 号、160 号）において道路啓開対応の要請あり、千葉県庁で打合せ（3 社）→以降順次作業開始（継続中）

10 月 4 日（日）

- 千葉県より、県道 287 号線の災害復旧対応について追加要請あり、当初 4 か所の予定のところ、計 6 か所に拡大し、当初対応中の 1 社が追加で対応（継続中）

10 月 5 日（月）

・ 千葉県より、10 月 1 日に要請のあった県内 7 か所の県道において追加で道路啓開対応の要請あり、計 9 か所の対応へ拡大（3 社）

10 月 10 日（土）

・ 関東地整より、袖ケ浦市の道路啓開対応の要請あり、千葉県庁で打合せ。現在対応中（1 社）

10 月 15 日（木）

・ 停電復旧のための道路啓開作業について、日建連への当初要請箇所の作業完了（4 社）

10 月 16 日（金）

・ 印旛沼破堤部（成田市船形干拓地先）の緊急復旧作業について作業完了（1 社）





印旛沼破堤部の緊急復旧作業（国土交通省関東地方整備局提供）

（更新箇所は下線で表示しています。）

（作業継続中の箇所は赤字で表示しています。）